

▼パナシ錠 [内]

【重要度】★★ 【一般製剤名】セフポドキシムプロキシセチル (CPDX-PX) (U) cefpodoxime proxetil 【分類】経口セフェム系抗生物質

【単位】▼100mg/錠

【常用量】200mg/日 [重症 400mg/日]

【用法】1日2回

【透析患者への投与方法】1回100mgを48hr毎, 効果不十分の場合には1回100mgを24hr毎 [HD日はHD後] (5)

【その他の報告】1回100mgを週3回透析後 (U) 通常用量を24~48hrおきに投与 (10) 100~200mgを12hr毎 [HD後] (17)

【PD】100~200mgを12hr毎 (17)

【CRRT】静注セファロスポリンを選択 (17)

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr>50mL/min: 100mgを1日2回, Ccr10~50mL/min: 100mgを1日1回, Ccr<10mL/min: 100mgを48hr毎 (5)

【その他の報告】減量の必要なし (7)

Ccr>50mL/min: 常用量を12hr毎, Ccr10~50mL/min: 常用量を16hr毎, Ccr<10mL/min: 常用量を24~48hr毎 (10,12)

GFR 10mL/min以上: 200mgを12hr毎, GFR 10mL/min未満: 100mgを12hr毎 (17)

【特徴】第3世代セフェム経口薬。セフポドキシムの経口での吸収性を高めたプロドラッグ。グラム陰性菌に対しては他の第三世代セフェムと同等の抗菌力を、グラム陽性菌に対しては第1世代経口セフェムと同等の抗菌力を有する。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, SJS, TEN, 偽膜性大腸炎, 急性腎不全, 肝機能障害, 血球減少, ビタミンK欠乏症 (血液凝固障害), 発疹, 好酸球増多など

【モニターすべき項目】出血時間, プロトロンビン時間, 便検査

【吸収】速やかに吸収されるが吸収率は50%と低い (11) $K_a=0.75\pm 0.09/\text{hr}$ (1)

【F】50% [食物の同時摂取で上昇する] (1,U) 食物と一緒に投与するとCmax, AUCともに20~30%上昇し, H2ブロッカーの同時投与で吸収率が低下 (11)

【tmax】2~3hr (1,U,11) 【Cmax】100mg: 1.7 $\mu\text{g/mL}$ (1) 1.4 $\mu\text{g/mL}$ (U) 1.2 $\mu\text{g/mL}$ (11) 200mg: 3 $\mu\text{g/mL}$ (1) 2.5 $\mu\text{g/mL}$ (11)

【代謝】腸管吸収時に脱エステル化されて活性体のセフポドキシムになるが, さらなる代謝物は1%以下 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率22~33% [po, 12hrまで] (U) 44.5% [po, 24hrまで] (1) 30% (12) 尿中回収率45~50% [po] (1) 吸収されなかったものは消化管で分解され糞便中に排泄され, 吸収された大部分 [80%] が代謝を受けることなく未変化体として糸球体濾過及び尿細管分泌により尿中に排泄される (11) 200mg単回投与での胆汁排泄は投与6~8hr後に最高6.29 $\mu\text{g/mL}$ (1) 尿中排泄率81% (13) Fが50%のため, 尿中未変化体排泄率は90%程度と思われる (5)

【CL】9.88 $\pm 0.39\text{L/hr}$ [iv] (1) 297mL/min (10) 240mL/min (11) 2.4L/min/kg (13) 【非腎CL/総CL】20% (10)

【t1/2】約2hr (1) 2.5hr (10,12) 2.1~2.8hr (U) 2.4hr (2) 1.9~2.8hr (11) 2.3hr (13) $k_e=0.37\pm 0.02/\text{hr}$ (1) 【透析患者のt1/2】26hr (10) 6~10hr (12)

【蛋白結合率】約30%, ほとんどアルブミンと結合 (1,11) 22~33% (12)

【Vd】32.3 $\pm 1.6\text{L/man}$ [iv] (1) 0.7L/kg (10) 31~43L/man (11) 0.46L/kg (13) 0.6~1.2L/kg (12)

【分布】速やかに体中に分布し, 肺組織濃度は血漿濃度の45% (11)

【MW】557.6

【透析性】HDで中等度 (35~64%) 除去される (U) 除去率22.4 $\pm 2.9\%$ [約3hrのHD] (1) PD液中に経口投与量の5.74 $\pm 3.1\%$ 回収 (1)

【TDMのポイント】TDMの対象にならない 【O/W係数】1.6 (11) 1.64 [1-オクタノール/水系, pH6.8] (1) 【pKa】3.2 (1)

【相互作用】アルミニウム又はマグネシウム含有の制酸剤併用で吸収が抑制される (1)

【更新日】20160203

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。